



公益社団法人日本パークゴルフ協会 支援事業

函館市民町会交流パークゴルフ大会

パークゴルフ

ひとを元気に、まちを元気に
笑顔ひろがる
コミュニティスポーツ

日本パークゴルフ協会支援事業

- 主催 函館パークゴルフ協会
 共催 道南地区PG協会連合会、
 すずらんPG場 (株)桔梗造園代表取締役山本久明
 後援 公益社団法人日本パークゴルフ協会
 日時 令和5年8月27日(日)
 場所 函館市 すずらんの丘公園パークゴルフ場



この大会は、函館市民が所属する町会単位で競う、パークゴルフ団体対抗戦です。市民の「健康維持」・「競技性」・「町会交流の場」として、パークゴルフを通じて、それぞれ町会に関する情報交換すると共に生涯スポーツとして「誰でもが気軽に参加でき、また、パークゴルフの普及振興に寄与する目的で開催したものです。

◆大会要項

- ・この大会は、町会の部と協会の部に分かれ、1チーム5人が団体として競い合う。
(競技中の途中で30分のクリーンタイム(休憩)を義務化しました。)
 - ・町会の部は、1チームとして町会に居住する市民が5人(内女子1名以上)で構成。
 - ・協会の部は、1チームとして町会に居住する協会員5人(内女子1名以上)で構成。
- 今年は、町会の部18団体、協会の部15団体 合計165人の函館市民が参加しました。
 天候は曇りであり、事前対策の「熱中症」は有事になりませんでした。選手は伸び伸びと「楽しく」・「緊張する競技の特殊性」を味わいながらプレーをしておりました。また、競技が終わると、成績のことや町会の話で盛り上がっておりました。

◆運営方法

- ① 今年、真夏の熱中症及びコロナ感染拡大防止対策を講じた大会運営を計画しました。
(競技の途中で30分のクリーンタイム(休憩)を義務化しました。)
- ② 事前に参加チーム責任者との会議を開き、当日の大会運営方法や競技中の熱中症及びコロナ感染拡大防止を徹底するよう呼びかけました。
「開会・閉会式を挙行」 ・「マスクを着用する。」・「ソーシャルディスタンスを保つ」
- ④ 競技役員は、競技中3密防止が確保されているか見回りをしました。また、受付時に塩飴を配り「熱中症予防対策」を促しました。
- ⑤ 大会本部では、有事の際に安静できる休憩室を確保すると共に救急箱・冷却水を備え付け、必要に応じ施設管理責任者と連携しながら連絡する体制を整えました。



福島恭二会長



受付状況 塩飴・飲料水配布



競技説明 大関 弘

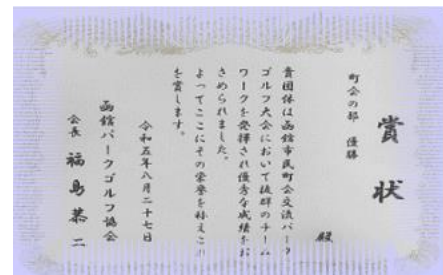
◆上位入賞者

★ 町会の部

順位	チーム名
優勝	東富岡町会
準優勝	桔梗町会 A
第3位	昭和町会
第4位	西旭岡・上湯川
第5位	美原町会

★ 協会の部

順位	チーム名
優勝	鍛冶・本通・川原
準優勝	東山・山の手・日吉
第3位	湯川・駒場
第4位	西旭岡・上湯川・高松
第5位	日吉町会



1位～5位まで賞状



町会優勝



町会準優勝



町会第3位



協会優勝



協会準優勝



協会第3位

◆スナップ



◆事業の成果

この大会は、公益社団法人日本パークゴルフ協会の普及活動支援事業です。

- ① 函館市民がパークゴルフを通じて、他の町会との競い合う緊張感チームの協調性の大切さを実感していました。
- ② プレーが終わると、「町会業務の話題」でコミュニケーションを図っておりました。生涯スポーツとして、健康維持・体力づくりに欠かせない「パークゴルフである」と実感しました。
- ③ 熱中症予防対策では「有事を想定し、準備をした」事により、結果的に発症者はませんでした。
- ④ 3密防止を徹底した下準備・競技中の見回り効果が良かったと思います。